



垂木伏図	
凡例	
●	印は、小屋束120×120(すぎ)を示す。
✕	印は、小屋束135×135(すぎ)を示す。
屋根面の水平構面耐力(1.96kN/m)の考慮範囲は全面とし、構造用合板12t貼り(横置)とする。 (面材は、N50@150にて垂木に打付けのこと。 垂木は、垂木道に載せた垂木の側面から、軒桁 母屋・棟木の上にN75・2本斜め打ちのこと。)	
---	印は、垂木60×90@455を示す。
- - -	印は、軒先垂木60×90@227.5を示す。
////	印は、軒出隅部補強(90×90(すぎ))を示す。 [垂木側には転び止め(45×60)を設けること。]
xxxxxx	印は、棟木120×180を示す。
----	印は、天窓補強材(60×90ひのき)を示す。 (配置は施工図にて確認のこと)
通り符号の ● 印は、軸組図作成通りを示す。	

鳥取市立日置谷地区公民館新築(建築)工事

垂木伏図

CHECKED BY.

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第25-142  
管理建築士(一級建築士登録番号 159191) 霜村 将博

PROJECT.NO	DATE	DRAWING BY.
2016-32	2017.3	一級建築士登録番号 第325874号 澤 亨
DRAWING.NO	SCALE	
S-19	1/100	